

# タンザニアのポピュラー音楽に おける笑いとストリートの政治

**講演者： 小川 さやか**

(先端総合学術研究科 准教授)

## 【概要】

タンザニアのポピュラー音楽「ボンゴ・フレーバ (bongo flava)」は、外来のヒップホップやレゲエをもとに誕生した新しい音楽ジャンルである。多くの研究者は、歌詞のテーマに焦点を当てることで、この音楽を若者による自己イメージの操作や社会風刺・啓蒙のための媒体として論じてきた。そのうえで、近年、ボンゴ・フレーバが欧米文化に迎合し、ローカルな文脈から離脱しつつあることも指摘した。本発表では、若者たちが、ストリートにおいてこの音楽をどのように受容・消費しているのかを明らかにすることで、この音楽における風刺とは、特定の歌詞やテーマを超えた「笑い」の実践へと転換しうるさまざまな身体的・感覚的な表現にあることを指摘する。また、そのような「笑い」の実践に着目し、「政治のストリート化」と「ストリートの政治化」の折衝を論じる。



**日時： 2013 年 12 月 20 日 18:00～19:30**

**場所： 諒友館 821 教室**

入場無料、どなた様もご自由にお越しく下さい

お問合せ： 岩田拓夫(t-iwata@fc.ritsumeai.ac.jp)